

平成16年度 推薦地区募集中

あなたの村を
「沖縄ふるさと百選」に

生産と生活が一体となった農村や漁村。都会に住む人々にとっては、癒しと安らぎを与える場所でもあります。

県では、農山漁村の魅力を広く紹介し、そこに住む人々のふるさとづくりを応援するため、「沖縄ふるさと百選」を認定しています。

これまで、十二地区が認定されており、現在、平成十六年度の推薦地区を募集中です。

対象は、

里地里山の自然環境の保全が図られ、良好なアメニティを提供している

農林水産業を通じて、地域の活性化に寄与している

伝統文化の継承・まちと村の交流等に寄与している

その他、地域活動が積極的に行われ、活性化に寄与している

のいずれかを満たす「ふるさとづくり」を行っていると思われる地域・団体です。

魅力あるふるさとづくりを行っているあなたの村も、この機会に応募してみませんか。



認定地区の紹介

「沖縄、ふるさと百選」



与那城町照間 (照間い草生産組合)

照間地区で生産されるい草は琉球畳に利用され、最近では民芸品や薬草としての活用も模索されています。

地域活性化の期待を込めて「ピーグ(い草)で織りなすふるさと」を進めています



石川市山城 (山城茶業協同組合)

市有地を生産組合が借り受け、組合員が班単位で生産管理を受け持つ体制で、年間8~9トンのお茶を収穫販売しています。

無農薬栽培と昔からの種という伝統を守り、「茶の香の薫るふるさと」づくりを継承しています。



下地町来間 (来間区)

来間大橋の開通を期に、地域をあげて、「創造するふるさと」として、農業生産振興・集落環境整備・地域特産品の開発等を継続的に行っています。

生産部門-5カ所-



石垣市大川・平田原 (宮良川土地改良区)

パンナ岳から望む大川地区では、農地防風林帯の効果を維持するため、土地改良区構成員による維持管理が続けられています。

平田原地区では、県内では数少ない水田農業が維持されています。「持続的農業を展開するふるさと」です。

知念村志喜屋 (知念村クレソン生産部会) 豊富な「湧水を活かしたふるさと」であり、県内では稀な農村景観を有しています。クレソンの収穫体験受入れを通じて、都市住民の農業への理解促進にも寄与しています。



「沖縄、ふるさと百選」に選ばれた所には、このような看板が立ちます

市町村からの推薦は **7月30日(金)が募集締切** となっております。たくさんの応募、お待ちしております。

お問い合わせ

- 県農林水産部村づくり計画課 TEL : 098-866-2263
- 北部農業改良普及センター TEL : 0980-52-2752
- 中部農業改良普及センター TEL : 098-973-5202
- 南部農業改良普及センター TEL : 098-889-3515
- 宮古農業改良普及センター TEL : 0980-72-3149
- 八重山農業改良普及センター TEL : 0980-82-3497



渡名喜村渡名喜 (朝起き会)

地元小学生からなる「朝起き会」が、週3回、朝6時半から清掃することで、美しい集落道を保っています。白砂の道に続く竹ぼうきの筋が印象的な心の洗われる「美しいふるさと」です。



北中城村大城 (大城花咲節会)

会員は55歳以上で、手作りの花と緑に囲まれた芸術の里づくりを進めており、「石の彫刻コンクール」の計画等、「夢のあるふるさと」を目指しています。

集落部門-3カ所-

平良市島尻 (島尻集落)

公園や遊歩道等の施設管理、島尻マングローブ林の美化保全等を地域をあげて行っています。これらは、「パントゥ」をはじめとした伝統行事の継承を通じて、地域の一体性が守られてきたことによるもので、「パントゥが見守るふるさと」づくりを進めています。

パントゥ...無病息災を祈願して行われる祭りに登場する妖怪



国頭村奥 (奥区)

「奥ヤンバルの里」を中心に1万人余りの交流人口を受け入れ、「憩いのふるさと」づくりを進めています。



本部町伊豆味 (伊豆味村づくり推進協議会)

学校・PTA・区民が一体となって活性化に取り組んで4万人余りの交流人口を受け入れ、「活力のあるふるさと」づくりを進めています。

交流部門-4カ所-



与那国町祖納 (与那国馬保存会)

かつては農耕用に利用されていた与那国馬が、種の保存が危ぶまれるほど激減しました。保存会を結成し、種の保存を行う一方、体験乗馬等を通じ、「与那国馬と共存するふるさと」づくりを目指しています。



金武町並里 (並里区)

水環境の保全利用が進み、子ども会を中心とした水田農業体験や自然観察会等を企画指導しています。また、県外からのホームステイも組織的に受け入れる等、「農業と農村生活体験を提供するふるさと」づくりを進めています。